

「ふじのくにエネルギー総合戦略」(案) 概要

・静岡県総合計画をエネルギー政策の面から補完する分野別計画
 ・計画期間：2022～2030（9年間）

◎現状と課題

1 再生可能エネルギーの最大限の導入

・あらゆる部門・場所への再生可能エネルギー導入拡大が不可欠だが、大規模設備には地域や環境との共生が課題

・再生可能エネルギーの出力変動、賦課金の増加による国民・経済界の負担増、災害時の電力確保等が課題

2 産業活動の脱炭素化

・世界的な脱ガソリン車の動きのなか、産業のEVシフトへの対応、充電施設や水素ステーション等のインフラ整備が必要

・水素エネルギーの一層の活用には、水素需要の喚起と、供給コストの低減が課題

3 二酸化炭素の吸収源対策

・森林・海洋等は巨大な二酸化炭素吸収源として期待される一方、森林資源の循環利用やバイオマスの供給体制の整備、新たな吸収源である海洋資源やカーボンリサイクル産業の取組の加速化が必要

4 省エネルギー社会の形成

・非電化部門の電化の推進により、電力需要は増加の見通しで、再生可能エネルギーの導入拡大などの供給側の対応だけでなく、使用する側での対応も不可欠

◎目指す姿

2050年
カーボンニュートラル
社会の実現

本県での「経済と環境の
好循環」の形成

・計画期間の2030年までは直ちにできることを実行

・併せて2050年を見据え長期的視点での取組を平行して実行

【2030年度の目標】
 県内の温室効果ガス排出量
 削減率 46.6%以上
 (2013年度比)

◎戦略の柱立て

<戦略1>再生可能エネルギー等の最大限の導入促進

- ・各家庭や事業所への太陽光発電設備の導入促進
- ・地域資源を生かした再生可能エネルギー導入拡大（小水力・バイオマス等）
- ・再生可能エネルギーの出力変動に対応するためのVPPの社会実装を推進

成果指標	現状値	目標値
再生可能エネルギー導入量	(2019年度) 49.7万kWh	(2030年度) 84.7万kWh
電力消費量に対する再生可能エネルギー等の導入率	(2019年度) 17.2%	(2030年度) 30.6%

<戦略2>脱炭素化に合わせた産業の振興

- ・産業エネルギーの電化を支援
- ・電化が難しい分野での脱炭素エネルギー（水素等）の導入促進

⇒技術開発等の国の施策に対応し、本県産業のカーボンニュートラルエネルギーの研究開発や、事業化を支援

<戦略3>二酸化炭素の吸収源対策

- ・森林等の二酸化炭素吸収源の確保
- ・「ブルーカーボン」の活用を通じた産業の振興

成果指標	現状値	目標値
森林の多面的機能を持続的に発揮させる森林整備面積	(2020年度) 10,314ha	(毎年度) 11,490ha

<戦略4>徹底した省エネルギーの推進

- ・産業、業務、家庭、運輸それぞれの分野での徹底した省エネルギー対策

成果指標	現状値	目標値
エネルギー消費量削減率(2013年度比)	(2018年度) △6.5%	(2030年度) △28.6%

◎戦略推進のための主な重点取組

	取組内容	活動指標	目標値
太陽光	<ul style="list-style-type: none"> ●新築住宅の約7割と年間1,500件の事業所への太陽光発電設備やソーラーカーポートの導入促進 ●営農型太陽光発電設備の導入促進 ●協議会を通じたVPPの社会実装の推進 	太陽光発電導入量（うち家庭用）	(2030年度) 334.3万kW (110.6万kW)
小水力・バイオマス・地熱	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者の初期負担の軽減支援による、小水力・バイオマス発電の導入促進 ●木質バイオマスの安定供給確保、副産物・残さのバイオマス利用促進 	中小水力・バイオマス発電導入量	(2030年度) 27.4万kW

	取組内容	活動指標	目標値
次世代自動車の運転環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ●プラットフォームを通じた、県内企業のEV化への支援 ●EV充電器や水素ステーションなどのインフラ整備の推進 	EV充電器設置数 水素ステーション設置数	(2030年度) 5,000基 (2030年度) 15基
モデル地域形成	●水素や再生可能エネルギーによる自立・分散型エネルギーシステムを活用した地域づくりの支援・県内への展開	水素や再生可能エネルギーを活用した持続可能なモデル地区	(2030年度) 3カ所

	取組内容	活動指標	目標値
森林資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な森林整備、施業集約化等による木質バイオマス資源の安定供給、未利用資源の供給体制整備 ●早生樹等の木質バイオマス用材等を生産する森林の造成・育成 	木質バイオマス（チップ）用材生産量	(毎年度) 10万m ³
ブルーカーボン	●「ブルーカーボン」の活用に向けた取組推進	—	—

	取組内容	活動指標	目標値
中小企業支援ZEB、ZEH	<ul style="list-style-type: none"> ●中小企業の省エネ・再生可能エネルギー導入に対するワンストップ相談窓口の設置、中小企業が取り組む省エネ診断・設備導入への支援 ●県有施設への再生可能エネルギー・省エネ設備の率先導入 	BELS認証を受けた住宅件数	(2025年度) 累計104件
ライフスタイル・ビジネススタイル	<ul style="list-style-type: none"> ●環境ビジネス、ESG金融の普及拡大 ●RE100等の再生可能エネルギー利用の促進、環境価値証書等の県民への普及 	ふじのくにCOOLチャレンジ「カルボ」アクション数	(2025年度) 360,000回

